

令和6年度 国体選考会要項・選考基準

2024年4月1日

岐阜県ライフル射撃協会

(1) 国体選考に係る申込・問い合わせ先

一～三次国体選考会	岐阜市総合体育館	太田宗吉		射撃場管理者
			E-mail	rsp52276@nifty.com
	済美高校 関有知高校	各高等学校射撃部の担当顧問又は 上野茂男射撃場管理者(関有知高等学校射撃場)		
国体最終選考会	愛知県総合射撃場	竹下 勝浩		
			E-mail	katuhiro@rd.mmtr.or.jp
		松巾 亜由		
			E-mail	rifle2020seibi@gmail.com

国体選考会への参加は、選手の責任において期日までに上記担当者へ申し込むこと。

(2) 国体最終選考会実施要項

- ①国体最終選考会は岐阜県ライフル射撃協会が開催する④国体最終予選会と同時期開催の⑧選考対象大会により構成される。
- ②⑧選考対象大会は国際大会及びそれに準ずる大会等に日本代表選手としての参加や、大学対抗戦大会に大学代表として参加する大会とし、個人参加大会はこれに該当しない。
- ③国体最終選考を希望する選手は、④国体最終予選会と同時期開催の⑧選考対象大会のどちらに出場(欠場)するかをノミネート締め切り1週間前までに選手強化委員長に連絡する事。
- ④岐阜県国体最終選考対象選手(ノミネート選手)は、前年度国民体育大会終了後のG1～G4クラス公式大会の記録上位選手、ライフル種目各6名。ピストル種目各3名(表3)を選考対象として選出する。また、ノミネート選手が参加辞退の場合は次点選手が順次繰り上がる。
- ⑤選手のオープン参加を認める。また、同時期開催の⑧選考対象大会に出場した者が、④国体最終予選会に参加した場合はオープン参加とする。
- ⑥各種目競技は60発で実施する。また、決勝マッチ10発を実施する場合もある。
- ⑦抱き合わせ種目について、拮抗した場合にはブロック大会で実施されないサブ種目も実施する場合もある。
- ⑧最終選考会での射座は予選での記録の上位の順に1～6射座とする。
- ⑨岐阜県の④国体最終予選大会の運営は選手強化委員または協会が指名した者がその任に当たる。
- ⑩選考に関わる結果について不服があった場合、ISSFの定める正式な抗議は認めるが、選考の公平性を保つため、他者の結果の開示は、認めないものとする。
- ⑪気象条件により、選考会の運営実施に支障をきたす場合は、選手選考委員の裁量により、選考を再度実施もしくは、他競技会の記録を選考記録に充てることができる。
- ⑫最終選考会の役員出役は、当該種目に関わらない選手強化委員が担当することが望ましく、出役者には交通費(ガソリン実費)の補助が支給される。

(3) ①国体最終選考定員(①国体最終予選大会と②選考対象大会の合計)

種目		定員	ブロック	
BR	60J／30J	6	4/4	K
	60WJ／30WJ	6	2/4	
BP	60J	3	1/4	
	60WJ	3	1/4	
50m	R3×20/P60W	6	1/4	
	FR3×20	6	1/4	
	FR60PR	6	1/4	
10m	ARP60/AR60	6	3/4	K
	AR60W/AR60PW	6	4/4	
	AR60J	6	3/4	K
	AR60WJ	6	2/4	
	AP60	3	3/4	K
	AP60W	3	2/4	
CP	CFP60/CFP精密30	3	4/4	

(4) 国体選手選考基準

①国体選手選考の方法は①国体最終予選大会または、同時期開催の②選考対象大会の結果を用いて記録上位の順に選手選考を行う。

②選考対象となる競技得点成績は①国体最終予選大会と同時期開催の②選考対象大会の両大会ともに当該種目で最初に記録された得点成績にて選考する。ただし同時期開催の②選考対象大会に出場した者が、①国体最終予選大会にOP参加した場合の競技得点は選考対象としない。

③代表選手選考にあたり、最終選考会成績を最優先に採用するが、最終選考会での成績が拮抗した場合(±1点以内)、成年選手においては、直近の日本ライフル射撃協会主催大会での入賞・記録が選考に加味される。高校生においては、追加して高体連主催大会の記録も選考に加味される。また、第一～三次国体予選での最も成績の良かった記録(最終選考会への適用記録)も選手選考の参考とする。

④抱き合わせがある種目の場合は国体ブロック予選に関わる種目の結果を優先する。

⑤最終選考会において複数種目の代表権を獲得した選手については、選手の意思を尊重し代表種目を決定する。他種目は次点の選手を繰上げ代表とする。

⑥トップアスリート特例措置を行使できる選手については、日本スポーツ協会の定めるルールに基づき、県内予選会への出場が免除でき、選考には、日本ライフル射撃協会の主催・主管の国際大会及びそれに準ずる大会、日ラ・県ラ・学連主催による大会等での入賞・記録が加味される。ただし、最終選考会に出場可能な場合には、原則出場すること。

⑦ブロック大会として実施されない種目(ストレート種目)の代表決定については、国体入賞可能種目を優先し、最終選考会の記録を基に選手選考を行うが、成績が拮抗した場合には東海選手権大会の成績を考慮し決定する。但しCP種目は該当しない。

⑧国際大会(日本代表海外合宿含む)に日本代表選手として東海ブロック代表として参加が出来ない場合には、当該種目の県内2位の選手を東海ブロック大会に出場させ、ブロック通過後に県内1位選手と入れ替えることができる。(この場合、県内2位選手の旅費・宿泊費等の経費は県ラが負担する。)

⑨高校生の国体選手代表選考については高校部会で選考し、選手強化委員会にて承認し理事会で決定する。

⑩国体代表選手及び監督の選考は、選手強化委員会が行い、理事会で決定する。その任期は国体本大会終了までとする。